駅北大火を契機に初期消火対策を強化

駅の北側の街中で147棟が焼けた糸魚川駅北大火からもう８年が経ちました。大火後、私も日本共産党議員団の一員として現地入りし、党を挙げて被災者支援に力を注ぎました。

糸魚川市では、大火後、二度と大火を起こさないことを目標にして火災対策を強化してきました。その一環として、地域と一緒になって初期消火をやれるようにと、軽くて扱いやすい口径40ミリのホースを市内の消火栓付近に約400カ所配置しました。先日、その設置状況を新保糸魚川市議（右の写真）から案内してもらい、視察してきました。一定の訓練をやれば、一般市民も十分使えると判断してきました。3月議会で私は、初期消火に消火栓をもっと活用できるようにするために、これまで消防団員しか使えないとしてきた消火栓の活用方針を見直し、40ミリホースの設置を検討するように求めました。八木副市長が検討を約束しましたが、早急に設置してほしいものです。

感動の作品展、高田でも安塚でも

右は岸田さんの作品展、左のイラストは高波さんの作品展の様子です。

4月6日、高田の大島画廊で開催されていた岸田國昭さんの作品展を観てきました。

岸田さんは高田世界館の運営や「文芸高田」の編集長として有名ですが、元々は絵の専門家です。

今回展示された作品の中で、山菜、野菜などの精密な画と手書きのコメント、とても素敵でした。また、理科の実験で使うビンなどを活用した作品の展示は岸田さんならのもので、大きな話題となりました。

12日は、安塚コミプラで開催中の写真展（「私の好きな桜の写真展」と「高波重春さんの蔵出し展」）を観てきました。

私も桜の写真をたくさん撮ってきましたが、みなさんお上手ですね。桜の写真家として全国的に有名な高波さんの写真、写真集以外では初めて見せていただきました。そのなかでも山桜の写真が最高でした。身近にこういう人がいることをうれしく思います。

４月上旬、吉川区のコウノトリの巣で誕生したヒナは17日現在３羽です。強い雨や風にも負けず、親鳥が運んできたフナやドジョウなどのエサを食べてどんどん大きくなっています。撮影は17日の午前です。

【コシノカンアオイ】
（再掲）ウマノスズクサ科の多年草。漢字で、「越の寒葵」と書きます。町内会の普請が終わっての帰り路に出合いました。吉川区の町田城址で出合って以来です。花期は3月から５月。暗紫色の花を咲かせます。写真の中央部の逆三角形が花です。花言葉は、「秘められた恋」。４月６日、吉川区代石にて撮影しました。

はしづめ法一の活動レポート

No.2200 2025.4.20

発行・編集 日本共産党上越市議　橋爪のりかず
Tel 025-548-3627
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL https://www.hose1.jp/

ブログ「ホーセの見てある記」は←こちら

橋爪法一　検索

春よ来い

第八四七回　遠い地での出会い

思わぬ人と偶然出会ったらうれしくなります。それも自分がいま住んでいるところから遠いところでなら、なおさら。

この間の月曜日、糸魚川市議選の応援に行った時がそうでした。その日は柿崎駅からえちご押上ひすい海岸駅まで行きました。その後、現地の事務所まで歩きました。ドラマが始まったのは、候補者が街頭演説を初めてまもなくのことでした。

随行車に乗っていた一人の女性から、「橋爪さんですよね、ご苦労様です。私、I（旧姓）Mです」と突然声をかけられました。「はい、どうも」と答えたものの、誰だかわからず、しばらくしてから、「どこかでお会いしましたかね」と尋ねました。

びっくりしましたね、答えを聞いて……。その女性は私がいま住んでいる吉川区代石出身のM子さんで、何度かお会いしたことのある人だったのです。目鼻は実家のお姉さんと似ていましたから、普通に出会っていれば、じきにわかったことと思います。

でもこの日、M子さんはマスクをかけておられましたし、そもそも糸魚川市に住んでいる人だと私は思っていなかったのです。高田か直江津の人だと勝手に思い込んでいました。

M子さんはたびたび吉川区の実家に帰ってこられ、私の母のこともよくご存じでした。たぶん、母ともお茶を飲んだことがあったのではないかと思います。

どうあれ、代石出身の人と遠方で偶然出会ったことで、この日は一日中、気分よく動き回ることができました。

こういうことは一度あれば二度あります。翌日の火曜日の午前は、宣伝カーの先導役として前市議の佐藤孝さんと一緒に能生地区で行動しましたが、ここでも思わぬ出会いが待っていました。

午前一〇時頃だったと思います。トイレ休憩をするために槙（まき）にある上南地区公民館に寄らせていただきました。

私は携帯に電話が入ったために仲間より少し遅れて建物に入ったのですが、玄関から少し進んだところに公民館のスタッフの方が何人かおられ、そのうちの館長と思われる男性がいきなり、「橋爪さん」と声をかけてくださったのです。

ここに私のことをわかる人がいるとは思いませんでしたので、「私のこと、おわかりなんですか」と尋ねたところ、「わかりますよ。今朝もコウノトリのことが新聞に載ってましたね」と言われたのです。

この日は朝が猛烈に忙しく、朝刊も読んでいませんでした。「その新聞記事、見せてもらえませんか」と言うと、すぐに持って来てくださいました。記事は上越タイムスのコラム「波動」の素敵な文章でした。

男性はSさん、旧県立柿崎高校で体育教師として勤務されたことがある方でした。私はメーデーや高教組の集会などで挨拶したことが何度かありますので、どこかでお会いしていたかも知れません。

旧柿崎高校は私の連れ合いが長く勤務していた学校です。「それじゃ、うちんのをご存じですか」と言うと、「知っていますよ。お元気ですか」という言葉が返ってきました。

この公民館では、コウノトリのことなどでSさんとの会話が弾み、トイレに行くのを忘れそうになるくらいでした。

私が住んでいる上越市吉川区は上越市の中でも北のはずれに近い位置にあります。糸魚川市の市街地まで行くには車でも一時間半以上かかります。たいして遠くはないよ、と言われる方もあるかも知れませんが、私にとっては、日常の生活圏ではないので、そこでの思いがけない出会いは新鮮です。心が躍る二日間でした。

源地区三大しだれ桜まつり、盛況

吉川区の源地区で12日、三大しだれ桜のイベントが行われました。三大しだれ桜は山直海の報恩寺と村松家、水源地区の尾神の桜です。

このうち村松家の会場では、琴の演奏、南京玉すだれが披露されました。琴の演奏曲には私の好きな『千本桜』もありました。演奏中にウグイスが鳴いたのにはびっくりしました。そしてチーム・明後日（あさって）の南京玉すだれでは尾神岳のパラグライダーや吉川区で営巣したコウノトリも題材になっていました。感激でした。

尾神しだれ桜祭りのメインはコミュニティバンド、ピアスの演奏です。子ども向けの曲や『コウノトリさん、ありがとね』などが歌われました。大島区大平出身、直江津在住の人、源出身、寺在住の人にも会いました。参加して良かったです。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。１時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は１時間当たり0.016～0.16μSv（マイクロシーベルト）だとのことです。

	4月9日（水）	4月16日（水）
上越消防署	０．０５０	０．０５３
上越南消防署	０．０４７	０．０５３
新井消防署	０．０５０	０．０５７
頸北消防署	０．０５３	０．０５０
頸南消防署	０．０６３	０．０６０
東頸消防署	０．０４０	０．０５３
名立分遣所	０．０５７	０．０５３
高士分遣所	０．０５０	０．０５７